



しろみず

東根二中たより



しろみずまる

平成30年
4月27日(金)
第2号

二中生1人1人が主役！ 生徒会新入生歓迎集会 4月13日(金)

新入生40名を迎え、生徒会が主体となって歓迎する集会を開催しました。事前の準備、当日の頑張り、新入生の笑顔等々、やはり二中の主役は二中生自身。二中生の素晴らしさが随所に表現されました。



二中生活を生徒会役員が劇で紹介！ 名演技ばかりでアカデミー賞にノミネートされそうです。



部活動紹介で躍動する2・3年生。



「開閉会の挨拶」。



新入生代表「お礼の言葉」。



裏もご覧ください。

同じ体験をしても、気づいたこと、感じたこと、驚いたこと、学んだこと等々、体験後に何を思うかは、二中生一人一人皆違います。違って当然です。その違いをお互いに理解し合えるからこそ、新しい価値を生み出されるのだと思います。様々な場面で二中生は何を思ったのか、1年を通して紹介していきます。

今回は、**生徒会新入生歓迎集会を終えて ～それぞれの思い～**

<p>私は、一つ一つの部活動の内容がよく分かり、自分に合ったものを見つけることができました。これから部活動が始まるので、真面目に取り組みたいと思います。</p>	<p>僕は、2年生と3年生の皆さんが開いてくださった歓迎集会に参加しました。二中の学校生活や委員会の仕事、部活動などを知ることができてうれしかったです。</p>
1年1組	1年1組
<p>新入生歓迎集会に参加して思ったことは、1年生の人数がとても多いことに驚いたことです。僕たちは、先輩になるので生活態度を良くしてお手本になるようにしていきたいです。</p>	<p>生徒会の「二中の1日」の劇を見て、私に当てはまる悪い例を見つけたので直そうと思いました。部活動紹介では、短い練習時間で、練習した成果を発揮できていたので良かったと思いました。</p>
2年1組	2年1組
<p>新入生歓迎集会に取り組んで、私は緊張する場面もありましたが、楽しんでやることができたので良かったです。2年前の自分を思い出して、とても懐かしい気持ちになりました。</p>	<p>私は生徒会の劇で緊張しながらもやり遂げることができたので良かったです。これから新入生とこの伝統ある東根二中で活動できると思うと気持ちが高まりました。</p>
3年1組	3年1組
<p>今回の新入生歓迎集会では、1年生に二中のことをたくさん知ってもらうことができたと思います。これから1年生と共に二中を発展させてきたいと思います。</p>	<p>僕は「二中学生の1日」で、手本にならない中学生役を演じました。その他にも1年生に部活動や委員会等を紹介しました。1年生の皆さんと一緒に活動できる日を楽しみにしています。</p>
3年1組	3年1組

4月17日(火)、3年生は全国学力学習状況調査に、2年生は山形県学力等調査にそれぞれ取り組みました。いかにして「授業で学んだことを日常生活で活用できるか」そんな学力が求められています。



集う (つどう)

校長 金村裕之

この度の家庭訪問について、ご多用中にもかかわらずご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、平成30年度がスタートして間もなく1カ月。月日が過ぎるのは本当に早いです。

春休み中に閑散としていた二中校舎。4月、この1ヶ月、二中生たちが日々集い、様々な声や音で活気に溢れていることが何より嬉しく感じます。そして、学校の存在価値を見つめ直しました。

学校とはどんな場所ですか。様々な考え方があってでしょう。4月下旬の今、私は、学校は「集う」拠点である、それは二中生たちのみならず、地域の皆さんにとっても「集う」大切な拠点であるのだなという考えが思い浮かんでいます。

4月13日開催の新入生歓迎集会は、「集う」場として二中の伝統となっています。やはり、価値あるもの、無くてはならないものは、どんなに時代が変化しても引き継がれるのだと感じます。

また、新入生歓迎集会での二中学生の姿・表情は「新入生のためによりよい集会にしよう」「先輩たちの姿を逃さず見よう」という意欲があればこそその輝きであるとも感じました。

「集う」とは生きる意欲なのだと思います。

4月は、標準学力テスト、全国学力学習状況調査、山形県学力テスト等々、テストが目白押しです。

そんなテスト前の休憩時間のこと。春休みの宿題テキストを材料に、2・3人の二中生が輪になって問題を出し合いながら復習に励む姿が、教室のあちらこちらにありました。二人三脚の学習方法です。集う意味を、また一つ発見した気がします。

普段は二中生が集う第二中学校。夜間や休日は、社会体育活動で利用されます。学校に数多くの皆さんが集っていただけることは、大変ありがたいことなのだ改めて感じています。